

第2学年B組 英語科授業案

公開Ⅱ 2 B 教室
授業者 天野 万喜男

1 単元 My MOTTAINAI Declaration (My Opinion)

2 単元の構想

(1) 本単元で成長する子どもの姿

ケニアの11歳の少女のMOTTAINAIに関わるスピーチを聞き、子どもは日本語「もったいない」を世界に広めることの魅力に気づく。世界の現状などを調べた子どもは「What is MOTTAINAI?」をテーマに意見交流を行う。そこで、Respect（尊敬）を強調して発信すべきだという必要性をもつ。MOTTAINAIが世界へ広がることに価値をうみ出した子どもは、さらに発信活動を続ける。

(2) 英語科としての学び

前単元「Is Sushi “Washoku” ?」において、子どもは世界における食文化の広がりを実感し、外国の食文化を受け入れる心をもつとともに、「いただきます」「ごちそうさま」といった日本語にこめられた意味を再認識した。また、時制や不定詞を学習して表現の幅を広げ、パラフレーズを有効に使えるようになった。ただ、意見交流の中で、仲間の意見につなげて自分の意見を述べるのが課題として残った。本単元では、ケニアの活動家ワンガリ・マータイさんが提唱したMOTTAINAI運動を取り上げ、彼女が世界へ広めようとした日本の言葉、そして日本の心について考える。子どもは、MOTTAINAIの意味や歴史、世界での認知度などを調べる中で、自らの思いをMy MOTTAINAI Declarationとして示し、外国の人と意見を交わす。そして、相手の意見を聞き、必要な情報を選んで自分に取り入れるSolving competence、さまざまな意見をもとに自分の意見を練り直すComposition competence、新たな語彙や表現といったGrammatical competenceを獲得していく。

MOTTAINAIは、マータイさんが来日した際に知り、世界へと広めようとした日本語である。マータイさんは、MOTTAINAIを、3R (Reuse, Reduce, Recycle) に、もう一つのR (Respect) の意味が込められた、すばらしい言葉だと定義した。訳す英語がないと言われるこの日本語を世界へ広める活動が、現在も継続されている。MOTTAINAIを広める活動をとおして、日本の伝統や日本人の誇るべき心を子どもが見つけ直し、自信をもって世界へ発信する姿を期待したい。

(3) 子どもが「学んだこと」を見つけ出すための教師の営み

PROSPECTの段階では、マータイさんのケニアでの国葬で、MOTTAINAI運動を今後も続ける決意を表明する弔辞を読んだ少女の映像と原稿を紹介する。「もったいない」は英訳できない言葉であることを知った子どもは、日本語でしか表現できないMOTTAINAIを世界へと広めることに魅力を感じる。

PROGRESSの段階では、外国の人に発信する前に、日本人としてMOTTAINAIをきちんと理解し、自らがまず実践すべきであると考えた子どもの意見を取り上げることで、自分の思いをMy MOTTAINAI Declarationとしてまとめ、その宣言をもとに外国の人に取材する。そして、「What is MOTTAINAI?」をテーマに意見交流を行うことで、3R (Reduce, Reuse, Recycle) だけではなく、Respect（尊敬）の意味がこめられたMOTTAINAIの精神を再確認し、日本の誇るべき言葉として、MOTTAINAIをさらに広めたいと考えるようになる。

PROCEEDの段階では、自らがMOTTAINAI運動を実践するために完成させたMy MOTTAINAI Declarationを、取材で関わった人たちへ発信したり、MOTTAINAI運動の日本支部へ送付したりする。それに対する感想、意見をもとに、単元のまとめの話し合いを行うことで、これまでの活動を振り返り、世界へ広げられたことに価値を感じる。そして、今後も、MOTTAINAIの心をもって生活したり、より多くの人に広めたりしようとする。

5 単元構想表 (15時間完了)

【第10時終了時】

段階	主なはたらきかけ	<input type="checkbox"/> 思い・考え <input checked="" type="checkbox"/> 「学んだこと」 <input type="checkbox"/> 子どもの行動	英語科で重視する力
PROSPECT	<p>ワンガリ・マータイさんの国葬でMOTTAINAIを取り上げた弔辞を読んだ少女の原稿を紹介することで、日本語であるMOTTAINAIを世界へ広める魅力に気づき、調査や取材の計画を立てる</p>	<p>「いただきます」「ごちそうさま」といった日本語を大切にしたい</p> <p>さまざまな国の人に取材し、意見を交わせるようになりたい</p>	<p>英語科で重視する力</p>
PROGRESS	<p>「What is MOTTAINAI?」をテーマに意見交流を行うことで、MOTTAINAIをRespect (尊敬) の意味がこめられた日本独自の言葉として外国人に広める必要性をさらに強く感じ、自分の意見をMy MOTTAINAI Declarationとしてまとめ、外国人へ発信する</p>	<p>MOTTAINAI運動とはなんだろう 1～3時</p> <p>MOTTAINAIは英語にできない、日本独自の言葉だ</p> <p>なぜマータイさんは世界へ広めようとしたのか知りたい</p> <p>MOTTAINAI運動は、節約を推進する運動らしい</p> <p>英語にできないMOTTAINAIは、日本から世界へ発信すべき、節約を推奨しものを大事にする言葉だ</p> <p>MOTTAINAIについて、世界の現状や日本の歴史を調べる 4～11時 (本時11)</p> <p>日本でもMOTTAINAIの心は失われつつあるのではないか</p> <p>まず、自分たちが実践者となり、それから広めたい</p> <p>正しいと思ったことを実践し続けたマータイさんはすごい</p> <p>MOTTAINAIをきちんと理解し、実践したうえで広めることが大切だ</p> <p>様々な節約の知恵にあふれる江戸の街について知らせたい</p> <p>My MOTTAINAI Declarationとして考えをまとめ、外国人に聞いてもらいたい</p> <p>3R運動は既に世界に広がっている</p> <p>海外にも伝統的な知恵がある。比較して伝えたい</p> <p>MOTTAINAIに外国の人は興味をもった</p> <p>MOTTAINAIに込められた、もう一つのR (Respect) を世界へ広めるべきだ</p> <p>節約が世界で求められている今、日本語にしかないMOTTAINAIを、より多くの人々に知ってもらいたい</p> <p>My MOTTAINAI Declarationを完成させ、発信する 12～15時</p> <p>江戸時代の様々な知恵を知ってケニアの中学生も驚いていた</p> <p>世界中の一人一人がMOTTAINAIの意識をもつことが大切だ</p> <p>ホームページに載せていただくことで、世界の人に見てもらえる</p> <p>ケニアの中学生にも共感を得られた。他の国にも広めたい</p> <p>My MOTTAINAI Declarationを世界中の人にしてほしい</p> <p>世界の人から反応があった。広まっていてうれしい</p> <p>My MOTTAINAI Declarationを発信し、世界へMOTTAINAIを広げることができた</p> <p>MOTTAINAIの精神を大事にして生活したり、発信を続けたりする</p>	<p>☆Solving competence</p> <p>MOTTAINAI運動を世界に広めるための、解決までの見通しをもつ</p> <p>☆Composition competence</p> <p>MOTTAINAIの説明や節約に関する語彙など、調査や意見交流のために必要となる表現をEBとしてまとめ、使えるようにする</p> <p>☆Grammatical competence</p> <p>I think that ~. や~ because ~. といった接続詞の使い方を身につける</p> <p>☆Negotiation competence</p> <p>MY MOTTAINAI Declarationに対する意見をもとに、自分の考えを練り直して意見交流を続ける</p>
PROCEDURE	<p>単元まとめの感想交流を行うことで、英語では表現できない日本独特の言葉であるMOTTAINAIを外国人に広げられた価値を感じ、今後もMOTTAINAIの精神を大事にして生活したり、発信を続けたりしようとする</p>	<p>普段の生活に活かしてこそ、MOTTAINAI運動の意味がある。意識して生活したい</p> <p>これからもMOTTAINAIを世界に通じる共通語として広めていきたい</p>	<p>☆Solving competence</p> <p>MY MOTTAINAI Declarationに対する意見から、自分や仲間の意見との相違を見いだし、明らかにする</p>

4 本時の構想 (11/15)

子どもは訳すことのできない日本語として、MOTTAINAIが世界に広まることに魅力を感じ、MOTTAINAIの広がりや世界の節約の現状、あるいは日本における歴史などを調べてきた。その一方で、他人事ではなく、自らが実践者となるべきだと考え、My MOTTAINAI Declarationをまとめ始めた。外国の人と意見を交わすことで、世界にはMOTTAINAIに似た言葉があること、MOTTAINAIには多言語にはこめられない意味がこめられていることなどを知った。

10時間目は、My MOTTAINAI Declarationを全員が発表する。電気や食べ物など身近なことから行動しようという呼びかけ、MOTTAINAI運動を広げたいという思い、Respectの大切さを強調した宣言など、それぞれの意見を出し合う。

本時は、「What is MOTTAINAI?」をテーマに意見交流を行う。その中で、MOTTAINAI運動を推進しようとしたマータイさんの強い意志を強調している~~マータイ~~の意見を取り上げ、焦点化させる。マータイさんが3Rには含まれないRespectの精神がこめられたMOTTAINAIを世界に広めたいと願ったことを再認識し、My MOTTAINAI Declarationを今一度練り直し、世界へと発信する。

